

令和6年度第1回宇城市総合計画審議会

日時	令和6年5月28日（金）14:30～
場所	宇城市役所新館1階第3会議室
出席委員	井田委員、柴田委員、高橋委員、百家委員、池田委員、濱崎委員
欠席委員	本間委員、植田委員、今泉委員
事務局	元田市長政策部長、小野田企画課長、企画課企画統計係職員

【議事要旨】

(1) 第2次宇城市総合計画（後期基本計画）の令和5年度進捗管理について

「育てる」まちづくり	
委員	学力調査における全国平均正答率との差という成果指標がF評価になっているが、一時的に落ちてマイナスになったということで結構厳しい評価だなと。それまでは右肩上がりですぐ伸びていたのが、一科目だけが落ちたことでFになってしまった。こういうのがあると、私も事務の立場からするとなかなか厳しいけど、ただ感想として申し上げた。
会長	令和5年度、単年度の評価となっているので、令和4年度までのトレンドとちょっと違うところもあるかと思う。個票のグラフがこれまでの推移だが、データとしては少ないが時系列でみれば統計学的には出てくるかと思う。 全体としては、今年度で後期計画が完了するので、そのあとに総括といった形で資料が出てくるかと思う。
委員	子供たちが遊べる場所が無いというのをよく聞く。私たちの時代は山だったり川だったりとても遊ぶ場所があった。今は車も多くなって遊ぶ場所が無いということで、何か子どもたちが安心して遊ぶ場所というのをできればお願いしたい。
事務局	今年の2月に行った市民アンケートの中でもそういったご意見を沢山いただいているため、そのようなことも勘案しながら次期計画や施策の検討の参考にさせていただきたい。
会長	私も子供のころには川や土手で遊んでいたが、今子供たちが事件事故に巻き込まれるなどあって、それを防がなければならないということで。今は何かとあると学校がとか行政がとすちに矛先が行きがち。多少その辺は住民の方も子育てでするので、公園、都市公園は行政が整備するけれども、治安や安全面については地域の方がやっていくというような時代なのかなと思う。
委員	学年によって勉強の率というか、全国平均を下回るというのが学校の運営委員会とかで出てくる。やはり年度によって子どもたちが変わってくる、統計を取るときに違ってくるのかなと思ってる。毎年の全国学力テストとかを公表していかれる中で、数学が悪いとか結構あったりするんで、教えられる先生方も大変だろうと思うが、そういうのも加わって評価が落ちてきているのかなとも思う。 子どもたちの遊び場については、三角の場合はありすぎるくらいある。子どもたちは緑地公園や田んぼで遊ぶこともできるような環境になっているので、三角の場合は良いのかなと思う。 ちっちゃい子どもたちを遊ばせるところが欲しいというのは良く聞くが、なかなかそれが無いようなので、課題かと思ってる。
会長	学力については、市からすれば、成績が良いに越したことはないが、数学なんかは特に差が開きやすい。よく平均値をとると外れ値に引っ張られてしまうので、平均値が果たして正しい物差しかというところではないときが多々ある。ですから、画一的な物差しではなくて、色々な側面からデータを見るといえるのが必要なのかなと思う。特に行政は。 それから、教育についてはインセンティブ、動機付けを与えないと。だから小学校なんかでインセンティブがないのにやれやれと言っても身につかない。その時はできても継続しないので、いかに小中学生にインセンティブを持たせるかというのがやはり教育の面については大事なかなと思う。
「住み続ける」まちづくり	
委員	住み続けるまちづくり、一番難しいのが三角なんですけれども、合併当時8千人だったのが今4千まで下がっている。いつまで続くのかなと思って話しているが、結局仕事が無いところが一番だと思う。
会長	今、毎日のようにTSMCで湧き上がっている。 いつ完成するかわからないが、幹線道路が繋がれば、そこへも通勤圏になる。もう菊陽とかは土地が無い。そういうのもニュースに出ていたりするので、幹線道路ができれば、通勤は通えますよと、高速道路で。 もっとアピールしたら良い。例えば土地をただあげるから、あるいは、高速代はあげますと。行政が。そうして居住してくれて、そこそこ住める。住環境がいいので。だから、働き先、職場があるに越したことはないが、居住地として選んでもらう。住み続ける、選ばれるとあるが、居住地としてみたいな視点というのを入れていけば。 そういった意味では、交通インフラが重要ではないかと。居住地を集約するという考え方が一つ。居住地は広がれば広がるほど行政コストはかかるので。いくつか矛盾するような視点があるが、今の宇城市にはどれが最善なのかというのを考えていただければと思う。

「持続する」まちづくり	
委員	<p>3-5の農林水産施設や環境の整備とつくり育てる漁場の推進がF評価となっているが、成果指標が1つしかなく、魚介類のブランド化による収益率の増加ということで、マガキのブランド化というのが書いてある。もう一つ、成果指標評価でFなのが、県営事業整備地区のの一時利用開始した面積。県営事業整備地区については、県の事業が遅れているというのがあり、県が原因というのであれば大変心苦しく思う。</p> <p>ただ、マガキ、3-5の魚介類のところは、県でも計画を作るときに良くあるが、成果指標の捉え方KPIの捉え方をちょっと失敗するというような項目になるのかなと思う。昨年度も0だった。豪雨による影響というのがあるが、ブランド化という表現が、ちょっと豪雨とは関係ないところもあるので、そこは今後、指標の設定にあたって次期の計画をつくられるときに、工夫された方が良いのかなと思う。</p> <p>おそらく皆さん努力なされていると思う、先ほどの教育もそうだが、その辺りの現場の努力とか行政側の努力されているというのが、ちょっとこの数字を見ちゃう限りでは何やってるんだという、我々も怒られたこともあるので。そういう風なところを今後、少し工夫されたら良いのではないかな。</p>
会長	<p>いつも言っているが、担当課でKPIを変更するのは自由。ただ、その理由がちゃんとしているかという話なので、理由がちゃんと、客観的データに基づいて説明できれば、指標というのはものさしなので、変更して構わない。</p> <p>委員も言われたように、ブランド化というのはブランディングなので、ブランド化したから売れるってどう判断するか。地域ブランドはなかなか難しくて。ずっと言っているが、松橋インターを宇城インターに変えろ、松橋駅も宇城駅に変えろと。宇城市というのがまだ浸透していない。熊本、宇土、八代となって、宇城はそこで飛んでしまうので。</p> <p>やはりブランド化というのは難しい。委員も言われた通りKPIを間違おうとF判定というのが出る。これだけ見ちゃうと、担当課は何もしていないのかという風に普通の人は捉えてしまう。捉えちゃうので、その辺はやはり、担当課がきちんとKPIの設定を調整する必要があるかなと思う。</p>
委員	<p>魚介類のブランド化のマガキは、三角オイスターのことか。今、海が汚れて育たなくなってきた、八代方面もみんな。去年の熱風、熱暑で普通のところでも育たなくなっている。育てている魚介類というのは、私たち近いところでも食べられないようなことが多い。陸で色々海水を使ったりしているところがあるかと思うが、ああいうのに取り組んでいかないとだめなんじゃないのかなと思ったりもしている。</p> <p>海で育てるといのは、海がきれいにならないとだめだし、猛暑で死んでしまっている。三角のオイスターも今年は少しは育っているみたいだが、まだ全国には、しばらくは難しいのではないかな。</p>
会長	<p>今言われたように、1次産業はどうしても自然環境をものに受けるので、そうした影響をちゃんと加味してKPIをつくらないと、環境が良ければ生育します、けれども、その前提条件が成立しなければ、F評価になってしまう。指標に影響を与えないような条件の元での指標づくりというのがひとつ求められるのかなと思う。</p>
委員	<p>耕作放棄地の指標がA判定でとても嬉しく思っているが、無断転用がちょっと見受けられる。それで、それを元に戻すというのはとても大変だったり、始末書がついたりする。自分の土地だから、何かするときに多分知らなくてされているのがあるかと思うので、良かったら何か広報とかで農地は農政課だったり、農業委員会だったりに相談して欲しいというのをしてもらったらありがたい。</p>
事務局	<p>広報紙あたりでも不定期ではあるが、記事を掲載している。今、委員も言われたとおり、無断転用の話も聞くため、担当課とも連携しながら随時周知をしていきたいと思う。</p>
会長	<p>上下水道のところ、下水道の接続促進を図っていくとあるが、人口減少、世帯数減少なのでこれはコストがかかるばかりである。確かに下水道事業は大事なことで、接続促進、拡大するんじゃないかと、今もう管線が通っているので、そこに接続してくださいということですね。だからそういう風に言葉をもっと補足して、これだったらどんどん管線を増やしていくみたいなイメージが出てくるので。今後の維持管理費が莫大にかかる。これもよく言われているように、5年後10年後、水道代がどんどん上がっていく。電気、ガスに比べて安すぎる。住民の方も安いもんだと思っているが、すごい金がかかる。この辺はやっぱり今後の取組で、そして実情を広報紙でもなんでもいいですけど、折を見て周知をしていった方が良い。</p>

「選ばれる」まちづくり	
会長	<p>魅力度ランキングは上がらないのか。三角に行けば海もあるし山もあるし、1次産業のもの、海のものもとれる、山のものもとれる。豊野と宇城彩館は儲かるお店になっている。宇城市は高速道路もある、インターもある、JRもある。JRがあるというのは本当に強み、日本は。JRは確実に時間通りになるので。かつ、港がいっぱいある。交通結節点がある、宝をいっぱい持っているのに、なぜこれを使わないのか。何年も言い続けている。さっき言ったように、TSMCの効果を県内全体に波及させると知事が言っているわけなので、それを見越した土地利用を、もう市の方からどんどんしていかないと。多分先に手を挙げたところからどんどん県は事業を進めていくと思うので、それも含めて選ばれるところだ。</p> <p>宇城市は持っている。しかも既に来ている、宇城彩館とか、いっぱい。そうしたものをうまく、回遊性というか、宇城彩館だけでなく、そこでひとつ見て回って、宇城市全体回って、回遊して、そして今住んでいる居住地と宇城市を比較して、宇城が良いなというのが、この選ばれるまちづくりのまず最初だと思いますので、そういったことを考えていただければと思う。</p>
委員	<p>三角ばかり言って申し訳ないが、海あり、山あり、毎日のように三角岳に登山される登山者もおり、本当に良いのだが、家をつくる土地がなかなか無い。この頃少し安くなってきたが、そういう場所が無い。古い家があるから崩してって言っても、仏様があるのでだめっていうような、そういうのがあったりして。三角駅の界限だったら電車に乗るのも歩いて行ける、銀行も郵便局も、病院は病院までバスが走っている、住むにはとても環境が良い。環境が良いのは認めてもらっているし、色々なのも良いんですが、PRが足りないような気がする。自分もあちこちで言っているが到底だめなので、セールスを市の方がしてくれれば良いのかなと思っている。</p>
会長	<p>熊本は地元の人が観光、うちは観光地ですというのが欠けている。阿蘇はそれがあるんですよ、阿蘇の人は、うちは阿蘇は観光地ですと言う。でも天草の人は、天草は観光地ですと言わないで、うちは観光地なかなかですもんねとか言う。地元の人がそう思ったらそれは人は来ない。</p> <p>そういった三角に限らず、売れる要素はあると思うので、選ばれるというのは、地元の人が、宇城市の市民の方が日常で宇城市をアピールする。もちろん行政もするが、行政は宇城市をアピールと言われても多分、どうしたらいいのかわからない。よくホームページをつくりましたとか言うが、ホームページというのは見ないと情報が伝わらない。いくらどんなに良いものを作ろうと、見てもらわないと。そういうことで行政も行き詰っている。ただ、今DX化という風に政府が方向を出しているので、DXをより活用してそういった部分はできるかなと思う。行政だけでというのはもう時代遅れなので、市民も含めて、市民も巻き込んで選ばれる宇城市というのを作っていただければと思う。</p>
高橋委員	<p>路線バス運行に対する補助金の額について、令和5年度が1億3千7百万で達成率は58.2%ということだが、この路線バスに対する補助金というのは、今のままでいくと、毎年増えていくんじゃないかと思う。傾向として。そのとき、例えば市で路線バスを廃止したところを運行するとか、減少率が激しいところについては、市の方で運営管理していくとかされた場合とそのまま残していた場合との、どちらが効率的になるのかというようなことは、市の方である程度は算出されているか。</p> <p>いずれにしても、このままですとどんどん増えていくのは間違いないと思うし、路線廃止されるのもその地区の住民にすれば交通網がまったく無くなってしまいうので、特に高齢者にとっては病院への足がなくなってしまうということ、だんだん不便になって、その地域についてはますます過疎化が進んでいくんじゃないかなという風に思うが、その辺の対策は。市の方でも考えてはいると思うが、改めて、もっと力を入れていく必要があるんじゃないかなという風に思った。</p>
事務局	<p>路線バスを維持するために係る補助金というのが1億3千万程度、これを高いとみるか安いとみるかについては、委員が言われたように、それを代替えてした場合はいくらかかるのかという考え方、そういう風に試算をしていきなさいというような考え方もあり、実際まだそこまで計算ができていない状況。路線バスを廃止してスクールバスに置き換える、市の運営に置き換える、それと路線バスの維持に1億3千万出すというのがどうなのかというところが、ちょうど交通の計画についても今年度が策定の時期になっており、来年度以降どうやっていくのかというのを作っていく段階にあるので、ぜひそういった考え方も取り入れながら、今後の交通のあり方というのは、市としても検討していきたいと考えている。</p>
会長	<p>これは全国どこでも、高齢者の免許返納と表裏一体。事故起こして危ないから免許返納しろと、けど公共交通がなかったら、委員が言ったみたいに、にっちもさっちもいなくなってしまう。今コミュニティバスとかよくあるが、私がアメリカにいたとき、コミュニティバスだった。それは地域を回るやつと、ちょっと離れたところへ行くような2路線しかなく、30分に1本と決まっている。そうしたら人間というのは、その時刻に合わせた行動をするようになる。だから、1時間に4本あろうか5本あろうか、定時に来るというのが大事。コミュニティバスを考えると、宇城市の人口分布を前提として、コミュニティバスとはどうあるべきなのかという視点で考える。</p> <p>宇城市の白地図に高齢者のマッピング、ドットマップを作る。誰がどこに住んでいるか、どういう人がどれだけ密集しているか、ドットマップがあれば見れば分かる。宇城市みたいな合併市は、同じような施設がいっぱいある。その統廃合も含めてまちづくり、公共交通もそうだが、どこに住んでいるのかということ、じゃあ観光で回れる施設がどこにあるのか、ここを総合的に考慮すると、選ばれるであったり、住み続けるであったり、公共交通というのはひとつの核になるかと思う。その辺は公共交通のプランが今年度ということなので、その辺の視点を担当課の方が入れていただければ。</p>

「活躍する」まちづくり	
会長	これも先ほど委員の質問にあったように、D評価で文化ホールの利用者数とあるが、これは何かイベント、催事があるから文化ホールが使われているのか、あるいは市民の方が日常的に利用しているのか。
委員	文化ホールはイベントなど。小さい方は日常的に使われているが。
会長	ここがDになっているのは、要は利用者数が少なかったという話。これはさっきも言ったとおり、イベントで本来来ているのに、イベントが無かったから少ない。イベントがあるという前提でのKPI、通常通りのイベントがある、あるいは日常的な催し、地域の人に参加する、そういった前提での指標になる。だから、それが無いとぐんと落ちている。先ほども言ったが、そういう条件に大きく影響を受けるような指標はちょっと考えた方が良いのではないかなと思う。

(2) (仮称) 次期宇城市総合計画策定方針について

会長	<p>総合計画というのは単に方向性を示すだけなので、ここに個別の具体的な話が出てると、担当課はそれをすればいい、それさえすればいいと思っちゃうので、より市民に福祉を、幸福感、満足度を与えようというところまでいかない。今の住民の方が宇城市に住んで、ちょうどいいと思える人が増えるかどうかというのは、今言ったように個別の施策は年度年度それぞれの担当課が作るわけですから、きちんと市民の感覚を汲み取りながら、個別計画が兼ねる。総合計画というのは、方向性を示すわけですから、ざっくりが良いと思う。</p> <p>構成であったり、考え方のところでSDGs、わかりやすいとあるが、ぜひ先ほどちょっと触れた、国のベクトルはDX化、ここを柱に1本入れていただきたいと思う。DX化、国や県のベクトルを汲み取りながら、やはり基礎的自治体は、計画を練る必要があるので、その辺を踏まえうえて、次期を作っていたら。</p> <p>事務局から市民も一緒にとあったが、あくまでも行政の計画なので、総合計画の責任者は行政。そこはちゃんと踏まえて、責任を取るのには市民ではないので。</p> <p>総合計画というのは、先ほど言ったが、市がこういう方向性でまちづくりしますと方向性を示すだけ。ただ、定期的にアンケートを取って、データ、今まで行政はデータをとるという習慣が無い。だからデータが無いのに観光施策をして当たるわけがない。極力すべての担当課の今まではデータ化していなかったものなんだけど、データのストックが重要で、それに基づいて、担当課が今の10年後5年後は、今ならこの施策をすべきだという形で、この総合計画にぶら下がるようなざっくりした方向性を総合計画で作るということになるかと思うので、その際はまた、本審議会の委員の皆様がそれぞれの分野でご自分の立場からこういった切り口も必要じゃないかといったご意見も賜りたいと思う。</p>
委員	ちなみに、今の計画は、前期基本計画と後期基本計画で4年ずつの基本構想8年、次期計画は基本構想のみで8年ということでしょうか。
事務局	そのとおり。
会長	8年間の基本構想ですので、ざっくり言えば10年後の宇城市はこういう方向で進んでいくということの青写真かなと思う。

(3) 市民アンケート調査結果(速報)について

会長	<p>どの自治体も、総合計画を改定するときは、住民アンケートをとる。これも先ほどのDXも含めて、郵便代がかかり、秋からまた上がると予定されている。DXすれば、今までアンケート調査をするのにかかっていた費用を別の他のところに使えるので、身近なところでもDX化は色々進めていった方が無駄が省ける。このアンケートの取り方も、まだ紙媒体で3千、はがき送付で知らせたということになっているので。</p> <p>それと総合計画については、多分普通の人は知らない。そんなのがあるの。だから、本来、総合計画に基づいて宇城市の市政運営はなされていますというのを、繰り返し刷り込むしかない。それを色々な広報関係で、総合計画というのは最上位計画、位置付けとしてはピラミッドの一番上にありますから。それを市民の人が知らないというのはやはり、悲しい。だからその辺もちょっと、周知徹底してもらえれば。</p>
委員	<p>アンケート調査の回答率が、そんなに沢山返ってこない。そこでどうにかするという方法は何かないか。たとえば婦人会とか、何か学習会の時にしてもらおうとか。各種団体で、そうするともうちょっと増えてくる、そしてわかるかなと思って。</p> <p>アンケートというのはやっぱり、皆さんの意見があると思う。でも字を読むのも嫌だという年寄りもいると思うので、そういうのも考えながらやっていただいたらいいのではないかな。他にもそんな話を、三角はどうしたらいい、宇城市はどうしたらいいというのを話していて、なんか不便だという声もいっぱいあるが、みんなが満たされるというのはないと思うので。そうしていったらもう少し近いものが出るんじゃないかなと思っていて、アンケートの仕方を少し考えていただければ。</p>

会長	資料に住民基本台帳から無作為抽出とあるが、この言葉がキーワードになる。無作為、ランダムに選ばないといけない。したがって、匿名性というが、誰が答えたかってわかったらだめ。この無作為抽出というのと匿名性というのを担保するためには、なにかの集まりで書いてもらうとまずい。それは統計学上意味のないデータになる。したがって、この無作為抽出というのがどうしても統計学上必要になってくる。
委員	じゃあ少なくともいいということ。
会長	<p>だから、住民意向調査をやりますというのを周知徹底してないからだめ。もし、紙媒体で読むのも面倒くさいという人がいれば、それがわからない形で聞き取りにすると、これは抽出は無作為ですから。市の担当課が聞くのは別にいいので。要は対面調査。</p> <p>若い人でも面倒くさがる人も多いので。急に送られて、教えてくださいと言っても、まあ25%、こんなものでしょう。ということは、75%分のコストが無駄になっている。だからそれも含めて、この無作為抽出というのがどうしても必要になってくる。</p> <p>確かにいろんな各種団体にとれば、いろんな意見が出てくる、多くの回答が出てくるというのは分かるが、それだと統計調査としては、全く価値のないものになってしまう。そういうのは、こういった各種審議会とかで、それぞれの方が、いっぱい会議にも出られていると思うので、そういうところでご発言いただくという形にならざるを得ない。</p>